

新入生の皆さん、ならびに保護者の皆様へ

駒場学園高等学校に入学する新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様、この度はご子女のご入学、おめでとうございます。

さて、入学式を4月5日から8日に変更しましたが、昨日、一昨日の東京都における新型コロナウイルスの感染者が合わせて260名に急増しました。それを受け学園としては、以下の通り、再度延期することにいたしました。

入学式（第1学期始業式を兼ねる）

日 時 5月7日（木）9時15分教室集合 10時開式

文部科学省、東京都、東京私立中学高等学校協会の指導助言の下、皆さんを迎えるべく準備を行ってきました。しかしながら、世田谷区の感染者数、近隣の目黒区・杉並区・渋谷区の感染者数及び若年層の感染者数の急増や重症者数などを鑑み、上記の指導助言には沿わない形にはなりますが、本学園の独自の判断として延期を決めました。皆さんに早くお会いしたいのはやまやまですが、感染リスクを下げるべく措置であることをご理解いただければ幸いです。

また、今はこのような形でのご挨拶になることをご容赦ください。

今申し上げたとおり、未知のウイルスが地球規模で蔓延しています。私たちにできることはすでに言われているようにまず「STAY HOME」です。自分の生命を守るだけでなく、他者の生命を守るためにこれは欠かせません。

そこに加えて、新入生の皆さんには、学園の生徒として、もうひとつ、このような言葉について考えてほしいと思います。

Even if I knew that tomorrow the world would go to pieces, I would still plant my apple tree.

先に読み進めるのを待って、いったん時間をとって日本語訳にチャレンジしてください。

日本語訳を申し上げます。

「たとえ明日世界が滅亡しようとも、今日私はリンゴの樹を植える」

この言葉はマルチン・ルターというドイツの宗教改革者の言葉です。もちろんここで私は滅亡の話をしたいのではありません。

この言葉には、主に2つの大きな意味があると思います。

1つは、どういう状況になっても希望を捨てないということです。嘆いたりいらだいたりせずに、明日のために希望を持って今日を過ごしましょう。

2つ目は、日常生活を大切にするとということです。皆さんにとっての「日常」とはどんなことでしょうか。未来のために、普段通りの生活を充実したものにする。その中には健康のために身体を動かすことも、もちろん学生の本分である学習することもあります。

このことにしっかり取り組んでください。そして今、私たち人類が直面している、この正解のない問いについてひとりひとりが考え続けてください。学園は、そういう生徒になってくれることを望みます。そして登校できるようになったら、皆さんがこの1ヶ月間どのようなことを考え、どのように過ごしたのか、ぜひ私たちに教えてください。

皆さんとお会いできる日を心から楽しみに待っております。

2020年4月6日

駒場学園高等学校長 笠原喜四郎